

授業科目 看護過程演習

【担当教員名】 石塚 敏子、佐藤 信枝、川崎 久子、 櫻井 理恵		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 看護を実践するための思考過程である看護過程について理解し、その活用方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の定義について述べることができる。 2. 看護過程の各段階（アセスメント、看護問題の明確化、計画、実施、評価）について説明できる。 3. ヘンダーソンの看護論の概要について説明できる。 4. ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程の構造と機能について説明できる。 5. ヘンダーソンの看護論を用いて事例の看護過程の展開ができる。 6. 看護過程の展開の意義を述べることができる。 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	科目ガイダンス・看護過程概説	1	講義、担当：石塚 敏子 他		
2	看護過程の各段階	2	講義、担当：石塚 敏子 他		
3	ヘンダーソンの看護論の概要	3	講義、担当：石塚 敏子 他		
4	ヘンダーソンの看護論による看護過程（1）	4	講義、担当：石塚 敏子 他		
5	ヘンダーソンの看護論による看護過程（2）	4	講義、担当：石塚 敏子 他		
6-14	演習（事例展開）	5	グループワーク（基礎看護学全教員）・講義、担当：石塚 敏子 他		
15	看護過程まとめ	6	講義、担当：石塚 敏子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ	有田清子、石田寿子、今井宏美	医学書院	2015・2,600円＋税	
	看護の基本となるもの	Virginia Henderson	日本看護協会出版会	2006・1,000円＋税	
参考書					
その他の資料	配布資料				
【評価方法】 学科試験：30% 学習態度（出席状況含む）、自己学習 20% 演習の達成状況：50%		【履修上の留意点】 ・この科目は、基礎看護学実習Ⅱを履修する上での前提科目である。 ・演習に際しては、十分な自己学習が必要である。			